

トウヤ祭祀と宮座

八木透

To-ya Sashi and Mya-za

YAGI Toru

はじめに

- ① 兵庫県西北播磨地域のトウヤ祭祀
- ② 滋賀県湖東地域のトウヤ祭祀
- ③ 京都府口丹波地域のトウヤ祭祀
むすび

【論文要旨】

本稿では、いわゆる「トウヤ（当屋）制」の概念について整理し、「トウヤ制」とは何かについて考えるための指標を提示することを目的とする。関西諸地域の具体事例を比較検討しながら、トウヤ祭祀の実態とそのヴァリエーションについて検証することによって、これまでさまざまな形態を示す祭祀のあり方を、一括りに「トウヤ制」、あるいは「トウヤ祭祀」と捉えてきた研究視角について、改めて検討を試みたいと考える。

本稿では具体事例として、兵庫県六粟市山崎町（旧六粟郡山崎町）、滋賀県東近江市（旧愛知郡愛東町）、および京都府亀岡市の事例を中心に、それぞれの地域におけるトウヤ祭祀の構造とその特質について考える。その際には、以下の四点のような視座から分析と考察を試みたい。第一の視座は、兵庫県六粟市の諸事例が顕著に示すような、村組の結合が非常に強固で、トウヤが家ごとに廻るといふよりは、村組である

リンボ（隣保）を単位として、毎年輪番制でトウグミ（当組）が廻るといふ祭祀のあり方を、従来の「トウヤ制」と同じ枠組みにおいて捉えてよいかどうかという問題である。第二の視座は、京都府口丹波地域や近江湖東地域の事例が示すような、いわゆる座入り儀礼の民俗的意味について考察することである。第三の視座は、トウヤの性格とその具体的役割については、名称や役割、性格も地域によってずいぶん異なる。このようなトウヤの名称と性格の相違についてはいかに考えるべきかについて検討を試みる。第四の視座は、「宮衆」などと称される、いわゆる長老組織の民俗的意味について検討を加えることである。特に口丹波や近江湖東の村落における「十人衆」などと称される長老たちは、いかなる役割を担っているのだろうか。また「年齢階梯制」と「トウヤ制」、および「宮座」との相関性に関しても検討を試みたい。

【キーワード】宮座、トウヤ（当屋）、トウグミ（当組）、長老衆、年齢階梯制